

事務事業名		高齢者配食サービス事業		所属部	健康福祉部	所属課	地域包括支援センター
総合計画体系	政策名	(Ⅲ)地域で支えあうらしくづくり《保健・医療・福祉》		所属G	包括支援G	課長名	小砂祐子
	施策名	(18)高齢者福祉の充実		担当者名	前田明美	電話番号	0854-40-1043
	目的:対象	65歳以上の市民	意図	生きがいを持って、いきいきと暮らす。		(内線)	3622
	基本事業名	(052)自立支援とサービスの充実		予算科目	会計 款 大事業 大事業名	地域介護予防活動支援事業	
目的:対象	施設に入所していない65歳以上の市民	意図	いきいきと暮らす。	0 1 1 5 0 9	中事業 中事業名	食の自立支援事業	
				0 5 6 6 0 3			

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	
<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (18年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)	
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
調理が困難な高齢者及び栄養改善が必要な高齢者に対して、介護予防プラン又は居宅介護サービス計画に基づき、一人週5回の範囲で地域のボランティアによる食事の提供と安否確認を行い、在宅で自立した生活を送ることができるよう支援する。自己負担 350円/食	

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	24年度実績(24年度に行った主な活動) ・申請により、「高齢者サービス調整会議」で利用の可否を決定した。 ・雲南市社会福祉協議会(吉田町を除く地域)、よしだ福祉会(吉田町)へ委託し、バランスのとれた食事の提供と安否確認を実施した。 ・利用実人数 190人 延配食数15226食	25年度計画(25年度に計画する主な活動) ・「高齢者サービス調整会議」により利用決定。 ・事業の実施については、雲南市社会福祉協議会(吉田町を除く地域)、よしだ福祉会(吉田町)へ委託。 ・平成25年度から、三刀屋町全域及びモデル地区においては、地域自主組織での配食及び安否確認を実施し、地域における見守り活動の推進を図る。				
	② 活動指標					
	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	
ア	実利用人数	人	177	183	190	180
イ	延食数	食	14,626	16,178	15,226	15,000
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	次のいずれかに該当する方 ・高齢者の単身世帯 ・高齢者のみの世帯及び準ずる世帯 ・障害者で自立支援及び栄養改善等の必要があると市長が認めた方		ア	65歳以上の独居高齢者数(4月1日現在)	人	-	-	1,819	1,869
			イ	高齢者のみ世帯の人数(4月1日現在)	人	-	-	3,196	3,206
			ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	
高齢者の食生活の改善 社会的孤立感の解消		ア	いきいきと暮らしている高齢者の割合	%	70.1	67.4	69.3	69.0	
		イ							
		ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (24年度決算)		② コストの推移		単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)
委託料 16870千円		事業費内訳	国庫支出金	千円				
			県支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円	13,535	14,918	14,570	15,030
			一般財源	千円	3,000	2,026	2,300	2,340
		事業費計(A)	千円	16,535	16,944	16,870	17,370	
人件費	正規職員従事人数	人	3	4	4			
	延べ業務時間	時間	189	474	337			
	人件費計(B)	千円	735	1,869	1,320			
トータルコスト(A)+(B)		千円	17,270	18,813	18,190			

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
制度改正により介護予防事業としてはH18年度より実施。H17年度までは旧町ごとに週1~5食とサービス内容にばらつきがあったが現在は週5食までの利用と統一している。高齢者及び高齢者のみの世帯の増加等により、利用者及び一人当たりの利用数についても増加傾向にある。	配食の回数の統一を行った。	利用者)1人の人が利用できる食数が増えて利用しやすくなった。食数が多くなり手作りが困難となったため、業者弁当が多く内容に不満の声もある。委託事業所)利用者の増加が著しく、事業の運営が困難になってきている。

事務事業名	高齢者配食サービス事業	所属部	健康福祉部	所属課	地域包括支援センター
-------	-------------	-----	-------	-----	------------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	高齢者にあった食事の内容及び量が配食されているか定期的に確認・見直しを行っていく必要がある。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	他の類似事業はない。	
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	地域資源を活用した高齢者に向けての介護予防事業として事業内容に盛り込むべき事業が介護保険法に決められており、事業費の削減は難しい。しかし、食事の内容や、配食の方法については委託事業所との協議等により見直しが可能と思われる。	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない		
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	高齢者の方がこの事業を利用するにあたり、サービス利用の必要な方かサービス調整会議で決定していくことは必要なことであり、併せて相談業務・訪問業務のための人件費なので必要。事業実施は、委託事業により行っているためこれ以上の人件費の削減はできない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	雲南市全域で行っている事業。またサービス調整会議より必要な高齢者を対象に事業を行っており、公平・公正におこなっている。費用負担も見直しにより現在の負担額となっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり
		C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		対象となる高齢者が増加しているため利用者が年々増加傾向にあり、配食スタッフが不足する地域も出ている。配食の方法、内容等については事業委託先との協議により検討が必要と思われる。	

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携																		
<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)																		
利用者宅への配食・安否確認部分について、地域自主組織との協働で取り組む。																					
		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持	●	×																		
	低下	×	×																		
<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																					